



新年のごあいさつ

社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会

あべ かずひこ
会長 阿部 一彦



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

障害者権利条約批准から9年、障害者施策の改革とともに、私たちを取り巻く社会環境は大きく前進してきました。そして、待ちに待った障害者権利条約に係る対日審査が、昨年8月、スイス・ジュネーブの国連欧州本部で行われたことは、この上もない喜びとともに、胸に刻まれました。私も、100人を超える日本の障害者団体や関係団体の皆さんと一緒に渡欧し、国連障害者権利委員会と日本政府の建設的対話を見守りました。その関心の高さや情熱は、他の国と比しても決して劣るものではなかったと感じています。

私たちの強い思いを受け、障害者権利委員会が日本政府に示した総括所見(勧告)では、人権モデルとの調和や地域移行、インクルーシブ教育の推進、障害者政策委員会の強化等といった課題と論点の指摘とともに、勧告に基づく障害者施策の改善にあたっては障害者団体との緊密な連携の重要性が示されています。勧告には、すぐに達成できそうなものもありますが、すぐに取り組んでも漸進的に時間をかけるべき内容のものもありますので、日身連は、加盟団体の皆さまと共有しながら、日本障害フォーラム(JDF)と連携・協力して取り組んで参りたいと思っています。

新型コロナウイルス感染症の終息が待たれますが、日身連は、コロナ禍に負けることなく、ICTの活用といった新しい環境をうまく取り入れ、加盟団体の皆さまとの一層の連携強化に努めるとともに、当事者参画のなかで多様性を認め合い、ユニバーサルデザインの街づくりと心のバリアフリーの一層の促進にむけて、団体活動を進めて参る所存です。そして、全国の加盟団体の皆さま並びに日頃よりご支援いただいている関係者の皆さまとともに、地域共生社会の実現を目指し鋭意努力して参ります。引き続き、日身連の活動に対しまして、ご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

結びに、すべての皆さまにとってより良き一年となりますよう祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

日身連

発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)
発行人 阿部 一彦
東京都豊島区目白3丁目4の3
デァダンクビル4階
TEL 03-3565-3399(代)
FAX 03-3565-3349
<http://www.nissinren.or.jp>
Japanese Federation of
Organizations of the
Disabled Persons (JFOD)
年間購読料 正会員1部 300円
非会員1部 1000円

令和4年度第2回定例理事会 理事定数削減にともなう定款変更など

12月21日、理事定数の削減に伴う定款変更や、要望事項の取りまとめなど

を主な議題として、第2回定例理事会がオンラインで開催されました。

理事定数については、現在の22名から16名へ削減することが令和2年度に理事会・評議員会で承認されているところですが、次の役員改選に向けて定款や関係諸規程を修正する必要があることから、今回、議案提出され承認されました。また、理事定数の変更に伴い、副会長の定数についても、日身連組織体制強化及び障害者施策等に関する検討委員会(以下、「組織・施策等検討委員会」)での意見取りまとめの結果が、荻津和良委員長から報告されました。なお、定款変更については、評議員会の決議が必要なことから、3月開催の定時評議員会へ提案することが確認されました。

各ブロックや政令指定都市等からいただいた要望事項については、障害者施策、バリアフリー施策などに関するものを中心に、のべ61件の要望が寄せられました。理事会ではこれらの整理を行った上で、内容が重複するものなどがあることから、組織・施策等検討委員会において内容を精査したのち、正副会長会での確認を経て各府省庁へ提出することが了承されました。